

中学校 社会科 第2学年  
小单元名 「関東地方」(9時間扱い)

単元の主な学習活動

小单元を貫く学習課題

「人口が集中する関東地方において、持続可能な社会を実現するためには何が必要か」

第1時

小单元を通して学びたいことを共有し、学習計画を立てる。

- ① 関東地方について知っていることやイメージについて伝え合う。
- ② 資料を基に、関東地方の特色を読み取る。
  - ・教師がロイロノートの「資料箱」に用意した資料を基に、関東地方の人口や産業の特色を読み取り、伝え合う。(個人→ペア)
- ③ 小单元を貫く学習課題をつくる。
  - ・資料から読み取った関東地方の特色や課題を基に、小单元を通して学習していきたいことをロイロノートで共有し、クラス全体で小单元を貫く学習課題を設定する。

小单元を貫く学習課題

「人口が集中する関東地方において、持続可能な社会を実現するためには何が必要か」

- ④ 小单元を貫く学習課題を解決するための学習計画を立てる。
  - ・ジャムボードに、「人口」「自然環境」「商業」「農業」「工業」の各項目についてどのようなことを学習していきたいか書き込む。

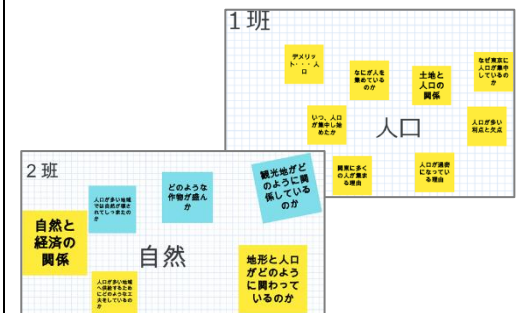
第2時

「関東地方の地形や気候にはどのような特色があるのだろうか」について考える。

- ① 本時の学習課題を確認する。
- ② 地形と気候の特色をまとめる。
  - ・教師がロイロノートの「資料箱」に用意した資料をもとに、地形と気候の特色を読み取り、伝え合う。(個人→ペア)
- ③ 都心部のヒートアイランド現象やゲリラ豪雨への災害対策について理解する。
- ④ 本時のまとめをワークシートに記入する。



学習活動② 資料の読み取りと共有



学習活動④ 各項目で学習していきたいことの共有



学習活動② 「資料箱」の資料をもとにした、地形や気候の読み取り

### 第3時

「関東地方の人口構成にはどのような特色があるのだろうか」について考える。

- ① 本時の学習課題を確認する。
- ② 人口分布についての資料を基に、北関東と東京大都市圏で人口密度が異なることを確認する。
- ③ 人口構成の特色をまとめる。
  - ・教師がロイロノートの「資料箱」に用意した資料を基に、東京大都市圏に人が集まる理由を読み取る。  
【政治、教育、経済、文化】
- ④ 人口構成の特色によって生じる東京大都市圏と北関東の課題を整理する。  
【過密、過疎、公害、地価の高騰等】
- ⑤ 本時のまとめをワークシートに記入する。



学習活動③ 「資料箱」の中に入っている資料の確認

### 第4時

「関東地方の商業にはどのような特色があるのだろうか」について考える。

- ① 学習課題を確認する。
- ② 都心部の写真から、東京大都市圏では商業が盛んなことを確認する。
- ③ 商業の特色についてまとめる。
  - ・それぞれの生徒が、東京大都市圏と北関東のどちらの地域の商業について調べるか決める。
  - ・教師がロイロノートの「資料箱」に用意した資料を基に、商業の特色とその背景を読み取り、それぞれの地域について伝え合う。(個人→ペア)
- ④ 関東地方の商業の課題について考察する。(個人)  
【地方の商業の衰退、跡継ぎ問題、都市部の競争の激化、資本力の大きい企業の独占】
- ⑤ 本時のまとめをワークシートに記入する。

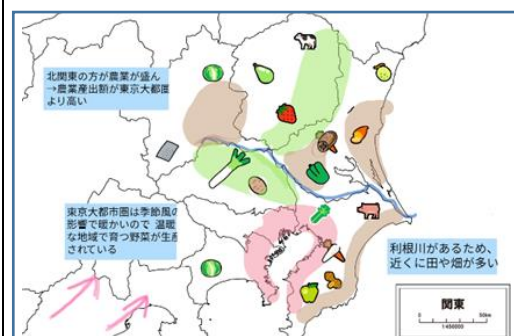


学習活動③ 「資料箱」の資料から読み取った特色と背景の共有

### 第5時

「関東地方の農業にはどのような特色があるのだろうか」について考える。

- ① 学習課題「関東地方の農業にはどのような特色があるのだろうか」を確認する。
- ② 農業の特色についてまとめる。
  - ・教師がロイロノートの「資料箱」に用意した資料を基に、人口や気候、地形、交通などに着目し、農業の特色とその背景を読み取りロイロノートにまとめる。(個人→ペア)
- ③ 関東地方の農業の課題について、ロイロノートのテキストにまとめて提出する。(個人)  
【農業従事者の減少・高齢化、跡継ぎ問題、耕作放棄地の増加、村落への生産依存の増加】
- ④ 本時のまとめをワークシートに記入する。



学習活動② 「資料箱」の資料から読み取った特色と背景の共有

**課題**

- ・農家につく人が減って高齢化が進んでいる

↓

耕作放棄地が増えている

学習活動③ 生徒がテキストにまとめた農業の課題の一例



## 第6時

「関東地方の工業にはどのような特色があるのだろうか」について考える。

- ① 学習課題を確認する。
- ② 関東地方の工業地帯・地帯について確認する。
- ③ 京浜工業地帯、京葉工業地帯、北関東工業地域の特色についてまとめる。
  - ・教師がロイロノートの「資料箱」に用意した資料を基に、各工業地域工業の特色とその背景を読み取る。
  - ・「北関東工業地域の発展」や「東京の工業生産割合の減少」の背景について考察する。(個人→グループ)
- ④ 本時のまとめをワークシートに記入する。

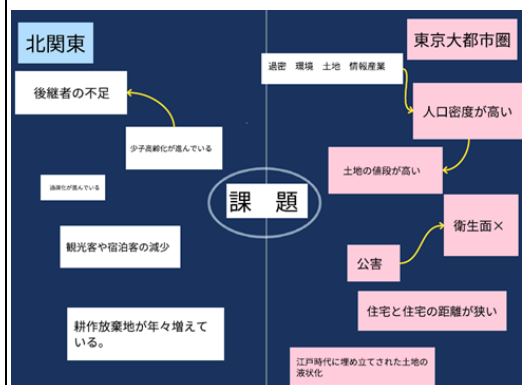


学習活動③ 「資料箱」の資料から読み取ったことを基に考察する様子

## 第7時

「関東地方にはどのような課題があるのだろうか」について考える。

- ① 学習課題を確認する。
  - ・次時以降で「今後の関東地方の姿」について考えるために、これまでの学習を基に、関東地方の課題を整理することを確認する。
- ② 関東地方の課題について、北関東と東京大都市圏の視点から整理する。
  - ・ペアで北関東と東京大都市圏を分担する。
- ③ 北関東と東京大都市圏の課題をウェビングマップで示し、グループで共有する。
- ④ 本時のまとめをワークシートに記入する。



学習活動③ ウェビングマップで示した、北関東と東京大都市圏の課題の共有

## 第8時（本時） pp.冊子3-4に掲載

資料やシンキングツールを用いて、小単元を貫く学習課題について班でまとめる。

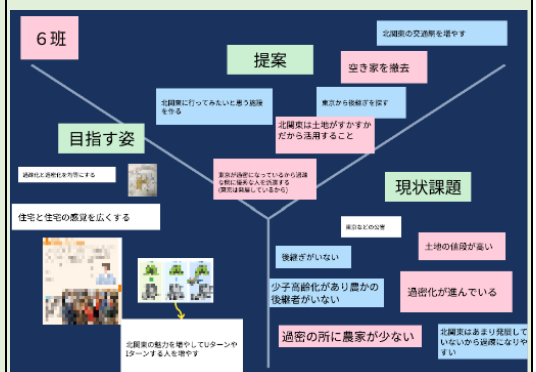
- ① 学習課題を確認する。

人口が集中する関東地方において、持続可能な社会を実現するためには何が必要か。

- ② 関東地方の今後の姿について資料を基に考察する。
  - ・「目指す姿」、「課題」、「提案」という3つの視点を明確にしなが、班ごとに考察する。
  - ・タブレットの中の「資料箱」にある資料を確認する。
  - ・班ごとに使いやすい思考ツールを選択し、話し合いを行う。
  - ・ほかの班と意見交換し、視点や考え方を参考にする。
  - ・次時の発表に向けて、提案の内容を整理し、各班でまとめた思考ツールを「提出箱」に提出する。
- ③ 本時の振り返りをする。
  - ・振り返りシートの記入を行う。



学習活動① 「資料箱」にある資料の確認



学習活動② シンキングツールの活用

第9時

各班の意見を共有し、小単元を貫く学習課題についての考えを練り直す。

- ① 小単元を貫く学習課題「人口が集中する関東地方において、持続可能な社会を実現するためには何が必要か」を確認する。
- ② 今後の関東地方について考えた「提案」をグループごとに発表する。
  - ・ほかの班の発表を聞きながら相互評価シートに記入する。
- ③ 小単元を貫く学習課題について、自分の考えをまとめる。
  - ・ほかの班の発表やこれまでの学習を踏まえて、自分の考えを練り直し、振り返りシートに記入する。



学習活動② 各班による、今後の関東地方についての「提案」の発表